

明延鉦山明神電車は明延から山のトンネルを通り神子畑精錬工場まで鉦石を運ぶために 1929 年に建設された 6 キロメートルある鉄道だった。貨物列車に加え、鉦山労働者や二つの町を通勤する他の人たちのために客車も走らせていた。客車の乗車賃は丁度 1 円だったので列車は「1 円電車」として知られるようになった。それは 1945 年から 1985 年まで営業された。客車のうちの 3 輛が明延鉦山の近くに今でも展示されていて、さらに 1 輛は復元されて訪問者たちが、線路に新しく建設された 70 メートルの区画で乗れるようになっている